

東京ホッケー協会第5回理事会議事録

日時：平成29年8月7日（木）18:30～20:30

場所：品川総合体育館会議室

出席者：（理事）和田明仁、一川邦彦、河原茂光、青木剛、菅野芳哉、林正巳、
鍋田茂子、三宅正美、右川誠治、(オブザーバー)近藤聡史
10名中10名の理事の出席があり、本理事会は定足数を満たし、開催された。

議題：

【承認事項】

- 2017年第4回THA理事会議事録承認
- 第4回THA連絡会議事内容について
第4回連絡会では2017年度上期の活動報告として6月のJHA定時総会及びその後のJHA執行部体制、また直近の国体関東ブロック大会の結果を報告したい。
下期に向けて、東京五輪2020の進捗状況の説明を交えながら、駒沢第一球技場の利用再開とその活用についてご意見を交換したい。特に9月の「日本リーグ駒沢大会」の開催は、今年度活動方針の柱とも言うべきもので、会員の皆様の協力をお願いする。
会場の都合で時間の制約があるが、時間の許す限りTHAの将来の在り方を法人化を含めてご相談したい。
上記の議事内容で進める事として承認された。
- 「チャレンジカップ東京（日本リーグ女子実業団4チームリーグ戦）」の開催について
今年度の駒沢で女子の「日本リーグ」開催が行われず、リオ五輪選手を含め女子トップ選手のプレーを直接見る機会がなかった。そこでJHAと相談し、女子実業団チームも望んでいるという事から本大会の開催を計画してきた。
ここにきて、ホッケー日本リーグ機構（HJL）側から、本大会の開催に対してスポーツ振興センターからの助成金を取得したい、との申し入れがあった。
7/26にJHA（内藤副会長、中村専務理事）HJL（福島理事）THA（和田会長、一川）で会合を持ち、その結果、主催はJHA、HJLの共催とし、主管をTHAとする事となり、併せてスポーツ振興センター助成金事業として応募する事を決めた。今後継続的に打合せを持って、具体的な取組みを行う事となった。
- 第72回国体関東ブロック大会への選手団派遣について
国体関東ブロック大会への派遣メンバーは一部入替の可能性もあり、最終決定は種別監督に一任する事で了承された。
- THA委員（スタッフ）の承認
駒沢での大会開催支援のため委員に応募された方を承認した。

【報告事項】

- 関連団体の状況
 - JHA新執行部体制について
7/15にJHA新執行部による理事会が開催され、業務執行体制が決定した。但しJHAのホームページに掲載されている組織図以上の内容は何も公表されていない。
 - ホッケー日本リーグ機構の社団法人化
ホッケー日本リーグ機構は7月に一般法人化され「（一社）ホッケージャパンリーグ」となった。理事長はJHA内藤副会長が兼務される。

2. 駒沢委員会の活動状況

(1) 駒沢での今年度イベントについて

今年度の駒沢で開催が予定（一部実施済み）されている大会・イベントは以下の通りである。

- ・ 開所式
- ・ 日本リーグ
- ・ チャレンジカップ東京
- ・ 「体育の日」イベント
- ・ 関東学連秋季リーグ戦
- ・ 早慶戦
- ・ 関東社会人リーグ
- ・ 都高体連選抜大会

(2) 駒沢開所式

7/8・9の両日に亘り駒沢オリンピック公園屋内球技場・第1球技場リニューアル開所式が施行された。式典には東京都バレーボール協会、東京ホッケー協会をはじめ東京都、東京都体育協会及び主催者である東京都スポーツ文化事業団が参加した。

式典後の懇親会には日本ホッケー協会の内藤副会長、安西常務理事にもご出席いただき、東京都のスポーツ関係者、世田谷区・目黒区選出の都議、駒沢公園運動場職員とも懇談の機会が得られた。

ホッケーは屋内球技場において元さくらジャパンの藤尾香織、仲田皆実さんを招き、両日、体験コーナーを実施し、小学下級生を中心に初日55名、2日目240名が参加してくれて、主催者側も驚く盛況であった。今回のイベントは京王エージェンシーが元請けでサウンドマンが下に入る形であった。

(3) 駒沢球技場内覧会について

式典に先立ち、球技場の内覧会が実施され、JHA、HJL、THA、関東学連、社会人連盟各3名が参加した。式典後、関係者でミーティングを行い、今後の駒沢での大会運営についての課題抽出を行った。

駒沢委員会の骨格は第4回理事会で承認を受けているところであり、THA委員、各競技団体内覧会参加者を中心に実行体制を固めて行きたい。

(4) 駒沢での大会運営について

当面は9月度の「日本リーグ駒沢大会」の開催を軸に大会運営を考えて行きたい。なお、「日本リーグ」だけでなく、多くの競技団体との連携が求められ、THA内に学生部会、社会人部会を設置した。9月度の運営に関しては、備品の購入・保管方法、チケット販売方法が課題である。

(5) 駒沢での今後の課題

駒沢での今後の大会運営についての課題を以下のように整理した。

- ・ 各競技団体間の日程調整
2018年度の駒沢の優先申込みの結果はこの9月上旬にも通知されるものと見られる。競技団体間の調整をどのように進めるか予め議論しておきたい。
- ・ 運営マニュアル整備と大会運営の共通化
運営マニュアルを整備し、各大会・各競技団体の運営を共通化し、大会運営の負荷軽減を図りたい。
- ・ 駒沢スタッフと五輪ボランティア
駒沢スタッフとして活躍された方が、五輪ボランティアとして活動できる仕組みを模索したい。

【協議事項】

1. 法人化について
 - ・ 都道府県協会と競技団体との関係、役割分担

次回開催予定：9月9日は「品川1000日前フェスタ」が予定されているので前倒しする。

上記決議を確認するため、本議事録が作成され、会長及び副会長が署名捺印した。

平成29年8月7日

東京ホッケー協会

会長

和田 明仁

和田明仁 

副会長

一川 邦彦

一川邦彦 